

月刊 新翔タイムズ

第55号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

白銀の世界を体験

信州志賀高原へ修学旅行 2学年



今年度の修学旅行は、長野県・志賀高原でのスキー・スノーボード体験学習で、1月22日から25日までの3泊4日で行われ、2年生144人が参加した。22日朝8時に学校を出発し、夕方には宿泊先のホテルに到着した。旅行2日目の体験学習初日は開校式が行われ、旅行委員長の山路君があいさつし、講習が始まった。生徒たちは、事前に希望した班(計14班)に分かれ、現地のスキー学校のインストラクターに指導していただきながらスキー・スノーボードを体験した。初日はスキー・スノーボードに慣れないことが

ら、悪戦苦闘している生徒もいたが、2日目になると、ある程度思い通りに滑ることができるようになり、楽しい講習になった。24日午後には閉校式が行われ、副委員長の二村さんがあいさつし、2日間の講習を終了した。講習を行った両日とも快晴に恵まれ、紀南地方では見ることもできない白銀の世界ができた。また、スキーをし

ない生徒は、講習の時間にそば打ち体験や善光寺参拝、アップルパイ作りや温泉街散策を行った。

働くことの尊さを学ぶ



1年生全員が、1月23日〜25日の3日間、地元事業所の協力を得て、インターンシップ(就業体験)を行った。

60事業所でインターンシップ 1学年

インターンシップについては、1年生「産業社会と人間」の授業の一環として、総合学科となった平成19年から1月末に毎年行われており、校外のさまざまな職場での就業体験を通して、学校で習得した基本的知識や技術の成果を確認し、仕事に必要な忍耐や集中力、責任感や人間関係の大切さを学ぶことを目的としている。

今回は、新宮市、那智勝浦町、太地町、三重県紀宝町の60事業所(消防署、病院、保育園、幼稚園、福祉施設、美容室、洋菓子店、ホテル、自動車販売店、スーパーマーケット、飲食店、衣料品店など)の全面的な協力を得て、働くことの尊さ、社会人としてのルール・マナー・常識、仕事への興味などを身に付けることができる絶好の機会となった。

このうち、男子5人が就業体験をした新宮市消防署では、東日本大震災のDVDを鑑賞し地震に対する知識を学んだり、

卓球部

新翔高校卓球部です。われわれは現在男子部員4人、女子部員1人の計5人で活動を行っています。人数は少ないのですが、部員全員の卓球に対する意識は高く、日々向上の精神を持ち練習に励んでいます。練習時間は平日で2時間半、週末で平均3時間半となっています。大会での勝利を目指し、練習は日々ヒートアップしています。なんとか一つでも多く勝ちたいと願っています。

本校の卓球部は新宮商業高校時代にはインターハイ出場も果たしたことがある伝統あるクラブです。われわれもそのような素晴らしい

クラブ紹介

交通安全の意識高める 新宮警察署から講師招き教室 3学年

2月8日、新宮警察署交通課長の濱地俊規氏を講師に招き、キャリア実習室にて交通安全講話が行われた。6月にも全校生徒を対象に交通安全講話が行われており、今回は卒業生を対象とした交通安全講話を行った。講話では昨年の全国の交通事故による死者が4411人にも上り、そのうち和歌山県下で50人が亡くなったことに触れ、その遺族の苦しみ、悲しみは一生涯

2月8日、新宮警察署交通課長の濱地俊規氏を講師に招き、キャリア実習室にて交通安全講話が行われた。6月にも全校生徒を対象に交通安全講話が行われており、今回は卒業生を対象とした交通安全講話を行った。講話では昨年の全国の交通事故による死者が4411人にも上り、そのうち和歌山県下で50人が亡くなったことに触れ、その遺族の苦しみ、悲しみは一生涯

学外から幅広く意見 第2回学校評議員会開催

2月19日、第2回学校評議員会を開催した。この会の目的は、学校運営などについて学外の有識者から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実を目指すとともに地域や社会に開かれた学校づくりを推進し、学校が家庭や地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を展開することにある。校内見学、授業参観、各部分から学校概況の

2月19日、第2回学校評議員会を開催した。この会の目的は、学校運営などについて学外の有識者から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実を目指すとともに地域や社会に開かれた学校づくりを推進し、学校が家庭や地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を展開することにある。校内見学、授業参観、各部分から学校概況の



まぐろ祭りに参加 「まぐろ竜田揚げラーメン」が好評

1月26日に那智勝浦町の勝浦漁業協同組合魚市場で行われた「第19回まぐろ祭り」に2年生地域文化系列10人と家庭クラブの生徒が参加した。

那智勝浦町は生マグロの水揚げ量日本一で、旬のマグロのおいしさを全国に広めるのが目的である。まぐろ祭りでは、新鮮なキハダメバチ、ピンチョウなどのマグロの一品盛りで盛り上がり、「まぐろ汁」や「まぐろのキャベツ焼き」などが無料で振る舞われた。

参加した生徒は、オープニングイベントから「まぐろ祭り」を地域の方々や外国からの観光客と一緒に楽しむことができた。今年は、那智勝浦町と友好提携を結んでいる岐阜県各務原市より「生マグロ」が参加し、会場を盛り上げた。その後は、マグロの振る舞いや南紀勝浦温泉旅館組合の抽選会の手伝い、会場に来ていただいた皆様へお菓子のプレゼントなどを行った。また、家庭クラブのブースでは「まぐろ竜田揚げラーメン」が振る舞われ、多くの観光客から絶賛の評価を頂いた。

参加した生徒は、「生マグロ日本一の勝浦に全国から

先生の紹介 田尻 智子先生



4月から新翔高校の保健室で勤めさせていただきます。体も変化し、心も揺れ動きまわります。将来、どのような道に進むのか決断を迫ら

4月から新翔高校の保健室で勤めさせていただきます。体も変化し、心も揺れ動きまわります。将来、どのような道に進むのか決断を迫ら

れ、いろいろな悩みを抱えます。私も高校生の時は「自分ほかにために生きていけるのだろうか」と悩んでしまっていました。自分の子どもが生まれて、ようやくその悩みから解放されました。小さい命は、ただそこに存在するだけで、周りの人に大きな力を与えてくれます。人は人との関わりの中で、力をもらい成長して

「遊ぼう」「遊ぼう」「遊ぼう」「遊ぼう」。自分自身を振り返ってみたい。また、自分自身を振り返ってみたい。また、自分自身を振り返って



2月10日(日) 予選リーグ戦

第1試合 和歌山北対新翔 [2-0]	25-11
第2試合 粉河・和歌山対新翔 [1-2]	25-23
結果…二回戦敗退	18-25

2月11日(月) 決勝トーナメント

第1回戦 <不戦勝>	25-14
第2回戦 箕島対新翔 [2-0]	25-9
結果…二回戦敗退	16

- ▽倉橋隆延 (佐野区長)
- ▽児島隆也 (有リフレわかやま)
- ▽下津修造 (丹当 ぼてと)
- ▽瀬古正一 (新宮信用金庫 徐福支店)
- ▽宮本昌幸 (宮本産業株式会社)
- ▽森本祐司 (森本薬店)